

# 令和3年度 オンラインプログラム(夏コース) 報告書

外国語学部 東アジア学科 名前:永原花梨菜

派遣先	台湾
派遣校・コース名	国立政治大学華語教学センター オンラインマンツーマンコース
派遣期間	令和3年 8月16日～9月3日

## 1. オンラインプログラム(夏コース)を申し込んだ動機について

私がオンラインプログラムに申し込んだ動機は二つあります。一つ目は、中国人の友達と話をする機会があった際に相手の話すスピードが速すぎて聞き取ることが出来ず、会話が成り立たないという悔しい経験をしたことがありました。なので、今回のオンライン留学を通してリスニング力とスピーキング力を少しでも伸ばし、中国語で上手にコミュニケーションをとれるようになりたいと考え、応募しました。二つ目は、台湾の文化や習慣を学びたいと考えたからです。私は台湾の文化や習慣に興味を持っています。そこで、今回のオンライン留学の授業の中に取り入れられている台湾文化と学生交流がより深く台湾の文化や習慣を学ぶのに良い機会だと考えたので応募しました。

## 2. オンラインの授業について

○参加したコース(レベル):

初級レベル

○コースの内容(授業内容、良かった点、悪かった点、反省点、感想など):

(授業内容): 授業開始後の5分間は日常的な会話をしました。例えば、今日の天気や朝起きた時間、夜寝た時間などの簡単な内容を話しました。その後、教科書の本文に出てくる新出単語の意味を理解し、先生の後に続けて発音し、その単語を使った例文を先生から教えていただきました。単語のテストでは、声調とピンインを記入するテストを数回に渡って行いました。他にも本文の会話文を読み、暗記して次の日にテストをしました。その後、文法を理解し、実際に使いながら先生と一緒に例文を解き進めていきました。リスニングテストでは毎回の一度しか流れない中国語を聞き取り、選択していくテストでした。

(良かった点): 良かった点は、教科書の内容が台湾文化を知るのにも役に立つ内容だったことや繁体字、簡体字、英語で文字が表記されていたので理解しやすかった点です。教科書の内容の中に結婚式の内容があったのですが、先生が更に詳しく台湾の結婚式の文化も教えて下さいました。他にも道案内の内容では台湾に来た際に「悠遊卡」という便利なカードの存在や台湾の地下鉄のことも詳しく教えて下さいました。教科書の文字は、勿論日本語が記載されていないのですぐに理解することは難しいですが、日本語の代わりに普段慣れている簡体字と英語が表記されていたので理解するのに非常に役に立ちました。

(悪かった点): 悪かった点は、遠隔授業なのでWiFiの繋がりが一日中悪い日があり、何度もやり直した日があったことと、私がbluetoothのイヤホンを繋げたままにしていたことに気が付かず、35分間も授業を無駄にしてしまった点です。先生には本当にご迷惑をおかけしたので、ハプニングへの対処法をしっかりと考えておかなければならないなと思いました。

(反省点):反省点は宿題に取りかかる時間が遅くなり、一時近くまで起きていた日があったことや復習が足りなかったことです。授業を受けた後に少し休むつもりが 2 時間休んでしまい、宿題に取りかかる時間が遅くなる日が度々ありました。授業が終わって 10 分ぐらい休憩で済ませるか、又は続けてすぐに宿題に取りかかった方が効率が良く、時間の無駄にもならなかったと思います。授業の復習では、毎日先生から送られてくる資料を印刷して読んで理解する復習をしていました。今思えばそれだけでは足りなかったなと反省しています。新しく習った文法を使って文章をいくつかも作ってノートに書いたり、声に出して読んだりしておけば尚更良い復習になったと思います。

(感想):今回のオンライン留学授業では、様々なハプニングも発生しましたが、無事に三週間を終えることができ良かったです。教科書の内容も充実して分かりやすく、高先生の教え方や人柄も非常に良かったので安心して楽しく取り組むことができました。

○文化授業及び学生交流に対する感想:

毎週金曜日に行われる台湾文化では一回目に「動中禅体験」、二回目に「台湾の贈り物文化」、三回目に「台湾語流行歌」という三つの台湾文化を学びました。一回目の動中禅体験は実際に動画を見て先生にもアドバイスをしてもらいながら一緒に動作を真似していきました。激しい動作ではないのですが、15 分ぐらい経過したあたりからじわじわと汗が出てきてとてもスッキリした気持ちになりました。心も体もスッキリしてとても気持ちが良かったです。

二回目の台湾の贈り物文化では、タブーな贈り物や人気のある贈り物の話を教えていただきました。日本でも場合によってはガラスや刃物、白いハンカチなどの贈り物はタブーとされていますが、台湾にも日本と同じようにタブーとされる贈り物があり、時計、傘、二足の靴、刃物は贈り物としてタブーだそうです。刃物以外の時計、傘、靴が台湾では贈り物としてタブーであることに驚きました。正に、国が違えば考え方も異なるのだと改めて実感することができました。逆に、人気のある贈り物は台湾で有名なパイナップルケーキだそうです。三回目に台湾に行った際に初めて試食したのですが、とても美味しく二箱買ったのを思い出しました。他にも花生糖、太陽餅、烏魚子など沢山の美味しそうな食べ物を教えてくださいましたので、次また台湾を訪れる日があったら試食してみたいと思いました。

三回目の台湾語流行歌では、声調が四つではなく八つあり、発音も中国語とは異なるので全く違う音に聞こえました。先生が沢山の歌を聞かせて下さったのですが、その中でも台湾で最も有名な「追追追」という曲が一番心に残っています。この曲の中に出てくる漢字の発音も私が習った感じの発音とは異なっていました。例えば、「你 ni3」と発音する部分を「你 li2」と発音したり、「水 shui3」という部分を「水 sui2」と発音をするというように全然中国語の発音と異なっていたので驚きました。この歌は最初から終わりまで凄く響きが良いので踊りたくなる楽しい曲だったので、先生と楽しく口ずさみながら歌うことができました。他にも日本統治時代の様子が窺える歌なども教えてください、非常に印象に残る授業でした。

学生交流(クラスメイトや現地学生との交流)の感想

学生交流の一回目と三回目は鄭さん、二回目は金さんという方と中国語で会話させていただきました

した。鄭さんと話した内容はお互いの趣味や身長、好きな歌、アニメなど、様々なテーマを話しました。鄭さんは少し日本語も話せるので私が理解できない単語があるとすぐに教えてくださいました。お互いアニメやディズニーが好きだったので一緒に歌を口ずさんだりして楽しかったです。台湾のおすすめの歌も教えてくださいました。

二回目の金さんは、「Jamboard」というアプリを使用しながら私が理解できるように絵を描いたり文字を書いたりして、中国語で話をしてくださいました。金さんと話した内容は、月下老人、台湾に来た時のハプニング体験、台湾の食べ物、金さんが日本を訪れた際の話など、鄭さんと同様に金さんとも濃く楽しい話をすることができました。特に、月下老人の昔話は知らなかったので教えてもらえて嬉しかったです。中国語だけでは理解できなかったと思いますが、金さんは絵が上手なのですぐに話の内容を理解することができました。

オンライン留学サロンは基本 4 人で進めるので中々多く話す機会がありませんが、今回の学生交流はマンツーマンなので相手の方と沢山話すことが出来ました。50 分間と思っていたのですが三回とも 2 時間近く話をしたので内容の濃いとても充実した交流ができたと思います。

### 3. プログラムに参加して、学んだこと、自分が得たもの、参加前の自分とどう変わったか等

プログラムに参加して学んだことは、自分に自信を持つことの大切さです。授業の初日、私は間違えることが恥ずかしいという考え方を持っていました。間違った答えを発言するぐらいなら笑って誤魔化してこの場を乗り切ろうと考えていました。いつも過小評価されることを恐れ、分かっているふりをしていました。初日の授業は先生の話している内容がなかなか理解できないことに焦りを感じ、徐々に声も小さくなり話す頻度が少なくなっていました。その日の夜には明日の授業が怖いと思ひ込むほど、自分の実力不足と自信のなさに落胆しました。しかし、その考えは日に日に自分で自分の自信を無くすことに繋がることに気付きました。そして、以前のような考え方はいけないと感じ、自分に自信と勇気を持たせるある決まり事を決めました。それは、「相手に対して申し訳ないという気持ちは一切捨て、間違ってもいいからとりあえずハキハキと答える」という決まり事です。以前は、相手への申し訳なさからついつい笑って誤魔化してきましたが、この決まり事を決めてからは次の日からの授業が怖くなくなり、むしろ楽しく授業を受けることが出来ました。分からないことがあったらすぐに先生に「分かりません。」と言葉にしてしっかり伝えるべきだと思いました。そして、相手への申し訳なさは一番に捨てるべき考え方だと思いました。今回のオンライン留学を通じて、自分に自信を持つことの大切さを学びました。

### 4. プログラム全体に対する感想、反省

私の担当をしてくださった高先生の人柄が良く、いつも笑顔で対応して下さるので私も安心してこのオンライン留学プログラムに取り組むことができました。私が間違っても嫌な顔一つせず、逆に笑顔で教えてくださるので、私も積極的に質問したり答えたりすることができました。先生が高先生だったからこそ、この三週間を楽しく終えることができたと思います。更に、授業中にエリーゼのためにという曲が流れていたのが「知っている曲です」と伝えるとこの曲がどこから流れているものなのか教えてくださいました。授業に関係ないことまで丁寧に教えてくださったので嬉しかっ

たです。本当に優しい先生に担当していただけたので良かったです。

反省点としては、最初の授業でわからないのを「分かりません」と伝えずに笑って誤魔化したことと、単語のテスト勉強に力を入れてなかったことです。笑って誤魔化せば察してもらえるだろうと甘い考え方をしていたのでそこが良くなかったと思います。分からなかったらはっきり言葉で相手に伝えないと相手は察してくれない時があります。なので、学ぶ上で分かったふりは今後一切やめようと思いました。単語のテストはピンインと声調を覚えるテストで、満点をとる日が少なかったです。必ず三、四問は間違えていました。45 分ぐらいしかテストの準備をしていなかったのも、そこがテストの点数に反映されたのだと思います。

※次年度の参加者の参考のために以下のことを教えてください。

5. 体調管理および生活リズムの作り方やその他アドバイスがあれば教えてください。

3 時間近くの授業が終わった後に少し休むつもりがダラダラと休むことになってしまう日が何度かあったので、授業が終わったらすぐに宿題に取りかかる方が良いと思いました。休むとしても 10 分と時間を決めてすぐ宿題にとりかかると良いと思います。

今回のように、午後から授業が始まる場合は早く寝ることが重要です。午後は午前中よりも集中力が途切れやすい為、睡眠が大切になってきます。お昼に 20 分間の軽いお昼寝をすると尚更良いと思います。

